

生徒のみなさんへ

6月1日から学校が再開されます。長期にわたる休校で、みなさんはさまざまなストレスや不安を抱え、焦りや苛立ちの中にある人も多いことと思います。生活のペースが崩れてしまった人、体力低下など健康面で心配な人もいることと思います。新たな学校で、あるいは新たな学級で、これからまさに友達を作ろうというタイミングで休校となり、人間関係の面で不安を感じている人も数多くいるかもしれません。本校は部活動に高校生活最大の生きがいを感じている人も多く、活動そのものができず大会が次々中止になってしまったことに、耐えがたいやるせなさを覚えている人も多いであろうことは想像に難くありません。

新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大と、それによって当然のように思っていた日常や近い将来の予定、希望といったものが喪失してしまったこの現状は、世界の誰もが経験したことのない出来事です。自分たちだけがそういう状況に置かれているわけではありません。人は誰も、あまりにもつらいことがあると、それを誰かのせいにしたりと、他責的な言動に出がちです。世界中で、感染者やその家族、医療従事者やその家族に対する差別や偏見、攻撃が発生したり、「自粛警察」に象徴されるような過剰な他者への攻撃が広がっています。それはとても悲しいことです。でも、考えてみてください。このつらさは世界中の誰もが抱えているつらさです。また、どんなに注意していたとしても、ウイルスは目に見えず、感染のリスクは至るところにあります。感染を恐れるあまりに他者を攻撃する人がいますが、誰もが「感染する」リスクを抱えていると同時に、人に「感染させる」リスクも持っているのです。みな同じです。

感染拡大はその波の大きさはともかくも、何度か繰り返されるのではないかと言われています。これから当分の間は従来通りにはいかない日々が続くと思われまます。学校においても、詳細は別途お知らせしますが、少なくとも夏季休業に入るまでのさまざまな行事は中止せざるを得ません。授業にも日常生活にもいろいろな制約が出てくることでしょう。夏季・冬季休業等の一部も授業に回さざるを得ません。

他者を攻撃するような動きの一方で、自主的に支え合いつながり合おうとする動きもたくさん出てきています。工夫して頑張っている人たちがたくさんいます。それは人間の素晴らしさだと思います。明るい気持ちにさせてくれます。感謝でいっぱいになります。しかしそのなかには、「コロナ・ハイ」に陥り、自分が頑張っている姿を見せることに追われている、頑張らなくてはならないという強迫観念にとらわれているケースも多々見受けられます。人はそうそう頑張り続けることはできません。頑張れなくてもいいと思います。頑張っている姿に無言の圧力を感じてつらい人もいるかもしれませんが、人のありようはいろいろです。たとえ頑張れなくても、少なくともその気になれば、みんなのために誰にでもできることはあります。その行動が感染拡大防止に役に立ちます。大事なことは冷静に判断して行動すること、感染しないよう感染させないよう「努力」することです。マスクの着用、手洗い・うがいの励行、咳エチケット、ソーシャル・ディスタンスの意識などがそれです。気遣いと注意深さ、それだけで立派な行動です。

学校再開にあたり、つらいこと、苦しいこと、困っていることがあれば、担任の先生をはじめ、信頼できる先生方に声をかけてください。この状況は先生方にとっても「誰もが経験したことのない出来事」です。誰も正解は持っておらず、悩みながら試行錯誤しながら前に進もうとしています。正解や即時の解決方法を提供することはできないかもしれませんが、ともに考えることはできます。ともに解決方法を探すことはできます。ともに悩みを分かち合うことはできます。ともに頑張ることはできます。誰も経験したことのない事態のなかで、ともに少しでもよい方向に向かえるよう歩んでいきましょう。

2020年5月29日

学校長

宮路 真人